



株主のみなさまへ

第98期事業ご報告

2013年3月21日 ▶ 2014年3月20日



株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

当社グループの当期の業績につきまして、概要をご報告申し上げます。

当期における当社グループを取り巻く経営環境は、海外では、中国において自動車・スマートフォン等、当社グループの主要関連市場が堅調に推移いたしました。米州においては緩やかな回復が続き、欧州でも持ち直しに転じつつあります。また、国内でも、企業収益の改善等、持ち直しの動きがみられました。

このような状況下、当社グループは、円高是正による輸出環境の改善がみられるなかで、海外を中心に好調な市場を捉え、拡販に注力してまいりました。また、グローバル企業としての高収益体質実現を図るべく、国内外における投資や経費構造の見直し等を進めるとともに、当期を通じて以下の方針にそった諸施策を実行いたしました。

- 好調・成長市場を軸とした受注拡大
- 環境変化に素早く対応できる
開発力、生産力、販売力の構築
- 新規事業への資源シフトによる
事業化加速

上記の結果、セグメント別では主力のモーションコントロールを中心に売上高・営業利益が増加したことや、為替が前期より円安で推移したこともあり、売上高3,635億70百万円(前期比17.1%増)、営業利益257億2百万円(同96.6%増)、経常利益270億84百万円(同92.7%増)、当期純利益169億64百万円(同149.4%増)となりました。

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けております。

当期の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

当期より、情報セグメントをその他セグメントに統合する等、セグメントの区分を変更しており、各セグメントの前期比につきましては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前期比)	営業損益(前期比)
モーションコントロール	1,623億46百万円 (26.0%増)	164億44百万円 (138億57百万円増)
ロボット	1,225億43百万円 (11.4%増)	95億11百万円 (13億74百万円増)
システムエンジニアリング	353億27百万円 (10.7%減)	△5百万円 (15億28百万円減)
その他	433億53百万円 (35.6%増)	11億11百万円 (2億17百万円増)

なお、当社個別業績につきましては、売上高1,801億68百万円(前期比11.1%増)、営業利益102億10百万円(同692.9%増)、経常利益167億3百万円(同196.3%増)、当期純利益118億30百万円(同232.3%増)となりました。

期末配当につきましては、安定的かつ継続的な配当とあわせて、当期の業績及び財務状況並びに今後の事業展開等を総合的に勘案のうえ1株につき6円とし、年間にお支払いする配当金は、中間配当金6円と合わせて1株につき12円とさせていただきます。

今年度(2014年度)は、米国経済の回復や、欧州の景気底入れ、日本の景気回復などが期待されますが、中国をはじめとする新興国経済の動向等、不透明な要因もあります。

当社グループとしては、既存市場のみならず、新規市場開拓が急務であるとの認識に立ったうえで、開発力・生産力・販売力を継続的に進化させ、グローバルに事業遂行力を強化し、中期経営計画「Realize 100」の実現を確実なものとするため、以下の3つの方針にそった施策を実行してまいります。

①コア事業の受注拡大

- 販売体制を強化し、シェア向上のための施策を加速させ、既存領域における質の改善と量の確保を図ります。
- 事業領域を拡大させるため、新規市場や新規事業領域の開拓を加速します。

②開発力・生産力・販売力の継続的進化による 高収益体質実現

- 日本、米州、欧州、中国の4極開発体制により、グループ開発力の強化を図るとともに、世界初、世界一の技術・製品開発を加速します。
- 生産自動化を推進し生産効率を向上させるとともに、市場動向、為替変動等を踏まえ、海外生産と国内生産との最適な組合せを追求し、グローバル生産体制の強化を図ります。

③環境・エネルギー領域の事業拡大と

ヒューマンアシスト領域の事業化体制構築

- 環境・エネルギー領域では、量産案件を確実に捕捉し、また海外を含めて新たな市場への参入を図る等、積極的に事業の拡大を目指します。

- ヒューマンアシスト領域では、バイオメディカル分野へのロボット適用に向けて事業統括部を新設し、事業としての発展を目指します。また、介護・医療・健康維持分野においてもニーズ探索を行い、事業化を目指します。

これらの方針に基づき、中期経営計画達成に向けた施策を展開するとともに、当社創立100周年に向けた2015年ビジョン「台頭する地球規模の課題に対し、当社のコア技術を活用し、問題解決に取り組む」を実現し、グローバル経済の中で持続的に成長し続ける当社グループを構築してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

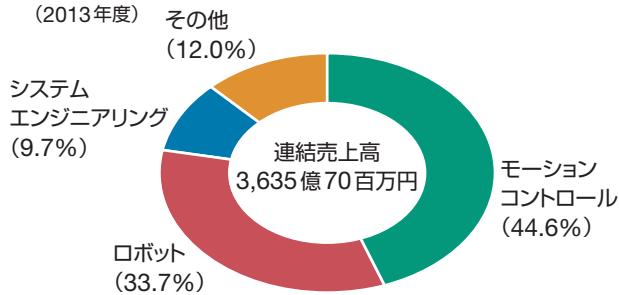
代表取締役会長兼社長

津田 弘嗣

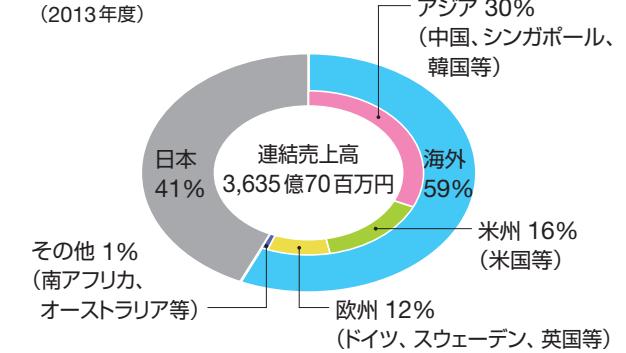


業績の推移

● 連結売上高のセグメント別内訳

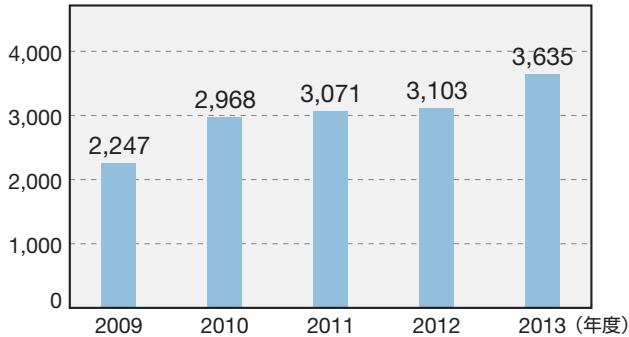


● 連結地域別売上高



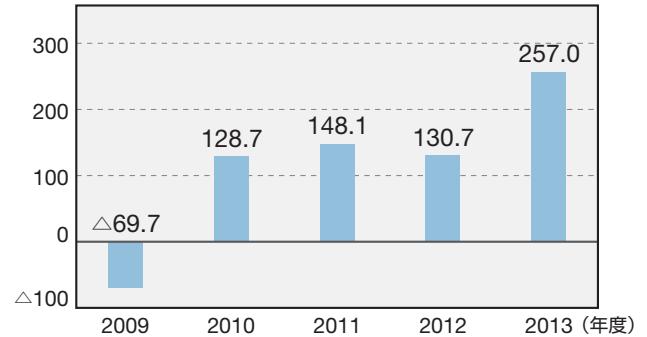
● 売上高(連結)

単位: 億円



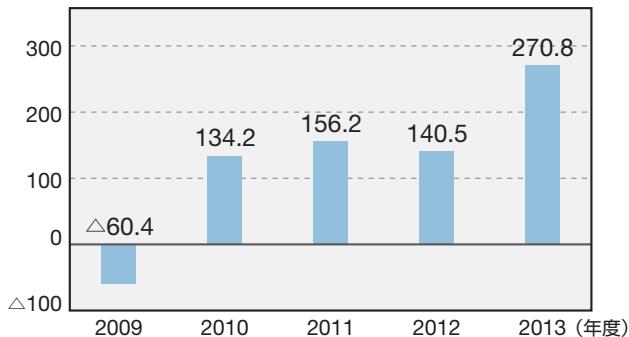
● 営業利益(連結)

単位: 億円



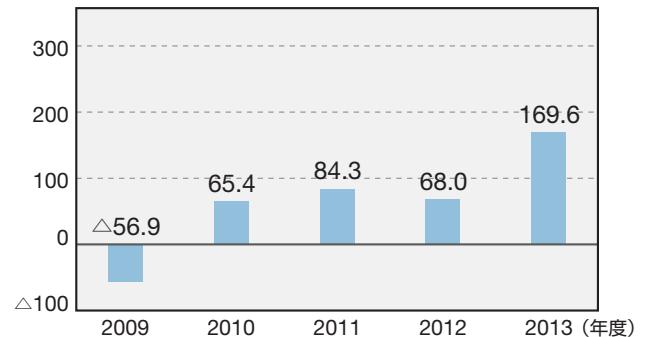
● 経常利益(連結)

単位: 億円



● 当期純利益(連結)

単位: 億円



■ 当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社79社及び関連会社26社（2014年3月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「その他」の各セグメントの様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリング等の事業展開を行っております。

日本

(株)安川電機	(株)安川テクノプレート	(株)同栄クレジット
安川情報システム(株)	安川モートル(株)	(株)フィールドテクノ
(株)ワイ・イー・データ	福岡化成工業(株)	(株)ヤスコ
安川コントロール(株)	(株)安川ビルサービス	(株)安川オフィステック
安川エンジニアリング(株)	(株)安川情報九州	モートマンエンジニアリング(株)
(株)安川ロジステック	(株)ワイエル・フィールドサービス	安川設備メンテナンス(株)
(株)安川メカトレック	(株)安川トランスポート	安川情報エンベデッド(株)
安川オピマス(株)	北九梱包(株)	安川TECOモータエンジニアリング(株)
安川マニュファクチャリング(株)	(株)東京安川トランスポート	(株)ワイディー・メカトロソリューションズ
王子電機(株)	(株)ワイ・エム・トランスポート	(株)左尾電機
(株)ドーエイ	安川エフエイテック(株)	(株)藤井精密回転機製作所

欧州

YASKAWA EUROPE GmbH	YASKAWA BENELUX B.V.
YASKAWA NORDIC AB	YASKAWA SLOVENIA D.O.O.
YASKAWA ELECTRIC UK LTD.	YASKAWA RISTRO D.O.O.
YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY, LTD.	YASKAWA CZECH S.R.O.
YASKAWA UK LTD.	YASKAWA SOUTHERN AFRICA (PTY) LTD.
YASKAWA ITALIA S.R.L.	SILVAMEADOW ONE (PTY) LTD.
YASKAWA FRANCE SARL	VIPA GmbH
YASKAWA IBERICA SL	PROFICHIP GmbH
YASKAWA FINLAND OY	YASKAWA TURKEY ELEKTRIK TICARET LTD. STI.

米州

YASKAWA AMERICA, INC.
YASKAWA ELETRICO DO BRASIL LTDA.
YASKAWA CANADA INC.
YASKAWA MEXICO S.A. DE C.V.
MOTOMAN ROBOTICA DO BRASIL, LTDA
YASKAWA INNOVATION, INC.

アジア

安川電機(中国)有限公司	YASKAWA INDIA PRIVATE LIMITED.	唯一奉思工程有限公司
YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD.	安川通商(上海)実業有限公司	安川メカトレック(深圳)有限公司
YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION	安川通商集团有限公司	YASKAWA MECHATREC (THAILAND) CO., LTD.
上海安川電動機器有限公司	安川(中国)机器人有限公司	東宮安川機電控制有限公司
台湾安川開発科技股份有限公司	YASKAWA ENGINEERING ASIA-PASIFIC PTE. LTD.	東宮福化塑料制品有限公司
安川電機(瀋陽)有限公司	YASKAWA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD.	武漢安塔計算機系統有限公司
安川首鋼ロボット有限公司	PT YASKAWA ELECTRIC INDONESIA	
安川首鋼ロボット(香港)有限公司	YASKAWA ENGINEERING KOREA CORPORATION	

(注) 上記の会社は、当社を中核とした子会社79社を記載しております。

株式会社ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は、東京証券取引所第二部に上場しています。

■ セグメント別の概況

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、国内及び中国をはじめとした海外全般における販売が好調だったことに加え、安川電機（瀋陽）有限公司の生産拡大による収益貢献により、好調に推移いたしました。

インバータは、太陽光発電用パワーコンディショナの販売が大幅に増加したことに加え、汎用インバータについても堅調に推移いたしました。

これらの結果、前期比で、売上高、営業利益とも大幅に増加いたしました。

主要製品

- ACサーボモータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- リニアモータ
- 各種モータ制御装置
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 汎用インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- 電源回生コンバータ
- マトリクスコンバータ



ロボット

溶接・ハンドリング・塗装ロボット等は、国内外の自動車業界向けを中心に堅調に推移いたしました。この結果、前期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム



システムエンジニアリング

鉄鋼プラント用電気システムが需要の端境期にあり、また上下水道用電気システムが低調だったことにより、厳しい状況で推移いたしました。

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 小水力発電用発電機
- 上下水道用電気システム
- 車載用モータ
- 各種産業用電気システム
- 電力用配電機器
- 高圧インバータ
- 風力発電システム
- 高圧マトリクスコンバータ
- 太陽光発電システム
- 産業用モータ・発電機
- エネルギー関連システム
- 風力発電用コンバータ・発電機



その他

当セグメントには、情報関連事業及び物流サービス等の事業が含まれております。

主要製品

- 情報関連製品
- 物流サービスほか
- 情報処理ソフト及び付帯サービス
- OA機器



■ 新商品のご紹介

最適なシステムソリューションを実現

ACサーボドライブ Σ -7シリーズ マシンコントローラ MP3300

ACサーボドライブ Σ -7シリーズとマシンコントローラMP3300の販売を開始いたしました。
「使う立場で発想する、開発する」という基本精神のもとに誕生した両製品は、組み合わせて使用することで、お客様の心をゆさぶる感動に満ちたソリューションを提供いたします。



ACサーボドライブ Σ -7シリーズ

世界最高の速度周波数応答、回生エネルギーの活用による大幅な省エネ、国内初*1となる機能安全規格IEC61508安全度水準SIL3の取得など、業界最高レベルの性能でお客様の装置性能を最大限に引き出し、超高速・超精密な制御に貢献します。

- 速度周波数応答 3.1 kHz を実現 **世界最高*1**
- モータ体積 従来比 約80% **業界最小*2**
- 高分解能 24bit エンコーダ搭載 **業界最高*1**

主な用途

- 半導体・液晶製造装置
- 包装機
- 電子部品実装機
- ロボット
- 工作機械
- その他
- 金属加工機
- 一般産業用機械



マシンコントローラ MP3300

MP2000シリーズのサイズとコストを継承しつつ、更なる性能向上・機能強化を実現しています。 Σ -7シリーズとの組み合わせによる潜在的なFA装置の課題解決、環境や省エネへの配慮をコンセプトとした新たなシステムソリューションにより、お客様の装置に最適なモーションコントロールを提供します。

- 高速スキャン設定 最小 250 μ s
- 64bit データ型 (倍精度実数、4倍長整数) 対応
- MECHATROLINK-III を標準搭載

主な用途

- 半導体・液晶製造装置
- ロボット
- 電子部品実装機
- その他
- 金属加工機
- 一般産業用機械
- 包装機

*1: 当社調べ *2: フランジ角 40 mm (50 W、100 W、150 W) での比較 (当社調べ)

管理医療機器認証を取得

下肢用リハビリ装置 LR²

下肢用リハビリ装置 LR² (Leg Rehabilitation Robot) について、管理医療機器認証を取得し(医療機器認証番号：225AHBZX00026000)、製品化したしました。

本装置は、2005年に発表した製品をリニューアルしたものです。脳血管疾患患者や、運動機能の回復・維持を必要とする高齢者などの下肢(足・脚部)のリハビリをサポートし、リハビリの量や質の安定化、介助者の負担軽減に貢献します。

当社は今後もリハビリ・福祉機器市場に向け、ロボット及びモーションコントロール技術を生かしたヒューマンアシスト製品の開発を進めてまいります。



6種類の運動パターンに対応

3大関節(股、膝、足首)の協調動作制御が可能です。熟練した理学療法士のような滑らかで綿密な動きを再現します。

3関節1	CPM	3関節2
足関節の角度を維持したまま、膝関節を屈伸する。	くるぶし位置を一定に保って膝関節を屈伸する。	股・膝・足の3関節を同時に動作する。
SLR	足関節	ブレンド
膝関節を伸ばしたまま、脚を上下させる。	足関節を底背屈動作する。	異なる2パターンを、交互に繰り返す。

(注) 医師や理学療法士などの指導の下での使用に限ります。

製品ブランド名 CoCoroe (ココロエ)

「リハビリを必要とする方や、リハビリに携わる方がどんな支援を求めているか“心得る”」との思いを込め、製品ブランド名は「CoCoroe (ココロエ)」としました。

CoCoroe

主な用途

- 脳血管疾患患者、整体疾患患者向けのリハビリテーション
- 高齢者向けの運動機能の回復・維持を目的としたリハビリテーション

■ 新商品のご紹介

再生可能エネルギーの活用に向け

太陽光発電用パワーコンディショナ

Enewell-SOL

太陽光発電用パワーコンディショナ Enewell-SOLに、100 kW (200 V級) と屋外設置型 (住宅または産業用*) の2機種をラインアップいたしました。

再生可能エネルギー活用に対するニーズの高まりを受け、日本の太陽光発電市場は順調に拡大しています。長年培ってきたパワー変換技術を生かし、今後も再生可能エネルギーの活用に貢献する製品の開発を積極的に進めてまいります。

産業用：100 kW (200 V級)

- DC250 V～600 Vの幅広い入力電圧範囲で運転可能
- シリコン薄膜を含む、あらゆるタイプの太陽電池に使用可能
- 設計寿命20年と、内部モジュール化による省メンテナンスを実現

主な用途

- 太陽光発電施設 (中小規模用)

屋外設置型 (住宅または産業用*)：4.5 kW/5.8 kW (200 V級)

- 当社独自のパワー変換技術により、96%以上の高変換効率を実現
- 複数台の連結使用が可能
- 防水性や耐塩害性が要求される過酷な使用環境に対応 (オプション対応)

「2013年度グッドデザイン賞」を受賞

本製品は、「2013年度グッドデザイン賞」の住宅・住宅設備部門において、グッドデザイン賞を受賞いたしました。

主な用途

- 太陽光発電施設 (住宅または産業用)

*：低圧連系に限ります。



**GOOD DESIGN
AWARD 2013**

大幅に軽量化しデザイン性を向上

バイオメディカル用途向け新形双腕ロボット

MOTOMAN-BMDA3

創薬・製薬・臨床検査などの研究・開発現場では、人手による作業が多いため、実験データの精度・再現性のバラツキや、人が本来の研究に専念できないといった潜在的な課題がありました。この課題を解決するため、バイオメディカル用途の新形双腕ロボットを開発*1いたしました。製品の形状は、研究現場で人と共に働くことを考慮したデザインを採用しています。外表面をフラットにすることで拭き取りがしやすく、清潔にお使いいただけます。また、樹脂製の外装を使用した「内骨格フレーム」によって、本体重量を従来の220kgから60kgに軽量化しています。



主な用途

- プロテオミクス*2のための分析前処理作業
- 遺伝子解析のための分析前処理作業
- 再生医療分野を含むスクリーニング作業

バイオメディカル用途向け ベンチワーク自動化ロボット (ロボットセル)

当社は、試薬や検体の分析前処理作業向けに、双腕ロボットを使用したロボットセルを販売しています。システム化したロボットセルを採用することで、設備導入にかかる時間を短縮できます。

共同開発：独立行政法人産業技術総合研究所
創薬分子プロファイリング研究センター様



ロボットセル



マイクロチューブの
ふた開け



ピペットによる試薬分注

*1：本製品は、独立行政法人産業技術総合研究所 創薬分子プロファイリング研究センター様との共同開発です。

*2：生体内の細胞や組織で作られるタンパク質の構造や機能を総合的に解析する技術の総称です。

■ 新商品のご紹介

幅広いニーズに対応

Enewinシリーズ

大型風力発電用低圧発電機・コンバータ

Enewinシリーズに、風力発電システムに広く採用されている690V（低圧）仕様の発電機とコンバータをラインアップいたしました。

高速・中速・ダイレクトドライブの各タイプに対応した永久磁石式発電機（PMG）は、形状と磁石配置の工夫により、最大効率を実現します。また、コンバータは風力発電に必要な機能を全て搭載しており、風況変動に対する優れた追従性が、安定した制御を提供します。二つを組み合わせることにより、風車システム全体の高効率化と信頼性の向上、省メンテナンス化を考慮した最適仕様を実現します。



発電機



コンバータ
(Enewin-LV1)

主な用途

- 風力発電施設

永久磁石形同期モータECOiPMシリーズを拡充

省磁石形大容量定トルク

IPMモータSS7

トップランナーモータ制度の施行*1に伴い、ますますモータの高効率化が注目されるモータ市場に向け、IPMモータSS7を開発いたしました。

従来品より枠番が最大2枠小さくなっており、お客様の機械の小形化や既存機械のモータ更新が容易に行えます。また、スーパープレミアム効率*2に迫る高効率で、省電力・CO₂削減に大きく貢献します。中・大容量機種をターゲットに、産業機械へのIPMモータ適用拡大を目指してまいります。



IPMモータSS7

*1：省エネ製品の普及を目的とし、特定の機器において、省エネルギー基準を現在商品化されている機器における最高レベルのエネルギー消費効率以上に定める制度。

2013年11月に「省エネ法」が改正され、誘導モータも特定機器に追加されました。

*2：モータの効率レベルは、IEC規格（国際電気標準会議）で規定されているIE1～IE4の4段階があり、スーパープレミアム効率（IE4）は、最高レベルの効率クラスを表しています。

主な用途

- ゴム、プラスチック成型機（押出機、延伸機、混練機）
- 金属加工機（機械プレス、鍛造機）
- 印刷機
- 昇降機（ホイスト、クレーン）
- 攪拌機、分離機、研磨機

創立100周年事業 本社事業所の再編について

当社は2015年に迎える創立100周年に向け、創立の地である本社事業所の再編を行っています。

事業所全体を「ロボット村」と位置づけ、本社棟などの立て替えを行うほか、一般公開ゾーンとして緑地帯「YASKAWAの森」を整備し、ロボットの最新情報などを発信する展示施設ゲストエリアも建設する予定です。

この再編に先駆け、昨年11月に新しくロボット第2工場が完成いたしました。

これまで分散していたクリーンロボット関連工場を集約したもので、半導体・液晶パネル市場向けのほか、食品製造業や医療用（バイオメディカル市場向けなど）のロボット生産を行います。

生産設備の再編・増強により、更なる生産性向上を図るとともに、お客様や学校・研究機関、地域の方々など、社外のみなさまにより親しんでいただける事業所を目指してまいります。



ロボット第2工場外観

敷地面積

1階：5,300 m²
2階：4,500 m²



ゲストエリア (完成イメージ)

ロボット第2工場 (2013年11月竣工)
クリーンロボット製造工場
(液晶パネル、半導体、バイオ関連)



本社棟 (完成イメージ)



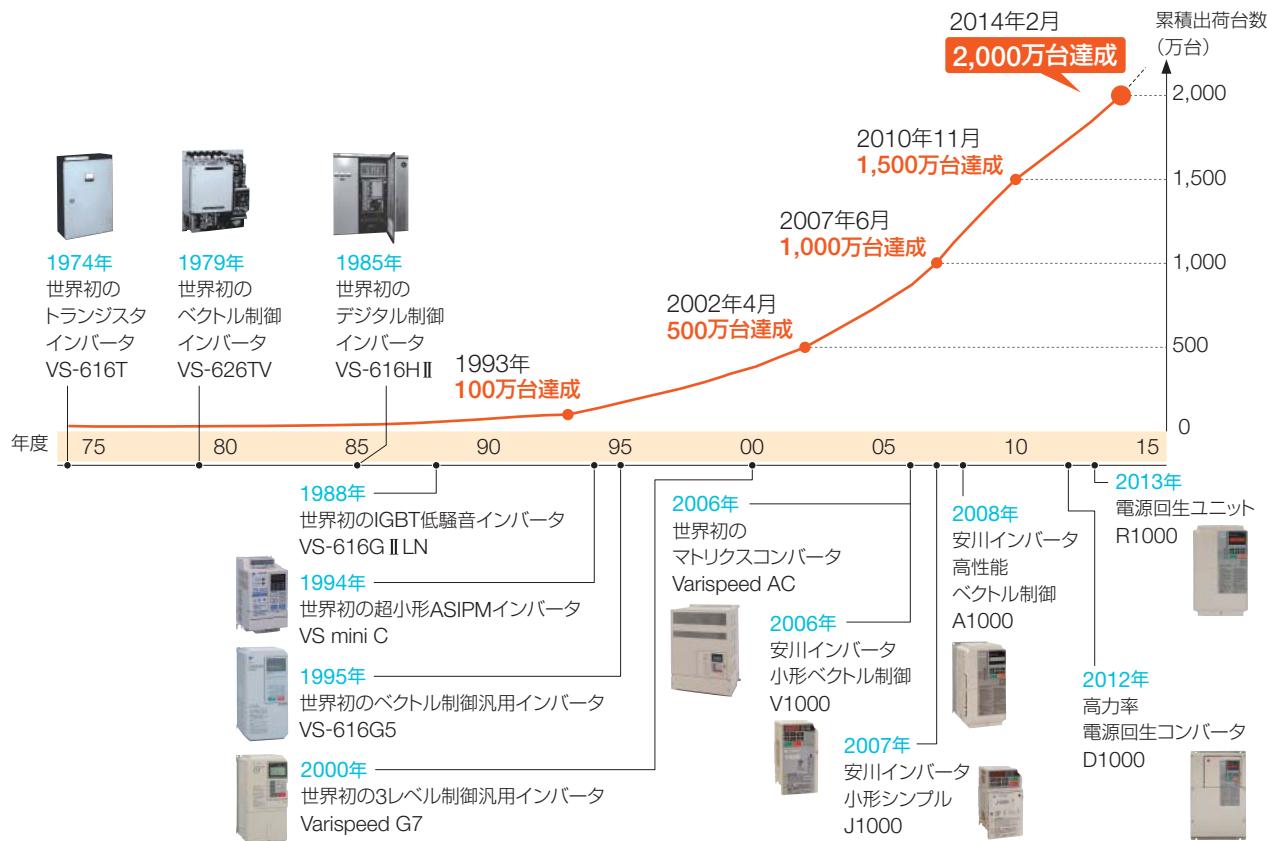
インバータ累積出荷台数2,000万台達成

当社インバータの累積出荷台数が、業界初の2,000万台を達成しました。

1974年に世界初のトランジスタインバータを出荷して以来、当社はモータ制御のパイオニアとして多くの革新的なドライブ技術を開発してまいりました。当社の技術は、デファクトスタンダード（世界標準）として広く業界に浸透しています。更に、3レベル制御やマトリクスコンバータ応用など、世界で当社のみ

が汎用インバータとして製品化しているドライブ技術も、お客様から高い評価をいただいています。

長年培った電力変換技術を生かし、近年は太陽光発電や風・水力発電、電気自動車などの環境エネルギー分野にも力を注いでいます。当社はこれからもお客様の期待に応える先進のインバータ技術・製品で、産業・社会の発展に貢献してまいります。



横河電機ダイレクトドライブモータ事業の譲受について

当社は、横河電機株式会社のダイレクトドライブモータ事業を譲り受けました。

横河電機株式会社は、ダイレクトドライブモータの市場においてトップシェアを確保し、中空径の大きなモータを使用する装置に適した、高剛性で機械振れ精度の高い製品を提供してきました。本事業を取り込むことによって、当社モータドライブ製品のラインアップを更に拡充し、お客様の多様なニーズにお応えします。また、モーションコントロール事業領域におけるソリューション提供力の強化により、更なる事業の拡大を積極的に進めてまいります。



DYNASERVシリーズ
ダイレクトドライブモータ

ロボティクスヒューマンアシスト事業の取り組み

介護用移乗アシスト装置

介護・福祉の現場へ向け、介護ベッド・車椅子間の移乗介助をサポートする介護支援装置を開発いたしました。

介助者による要介護者の抱え上げを装置がサポートすることで、介助者の負担を軽減します。簡単に操作でき、全方向移動キャスターがついているので居室間の移動も自由自在です。

また、要介護者が次の動作に移りやすい姿勢の制御、正しい姿勢で座ることができる骨盤の傾斜制御などを装置が行うことにより、要介護者に精神的・身体的負担を与えません。

本製品は、経済産業省が公募する2013年度ロボット介護機器開発・導入促進事業（開発補助事業）に採択されました。

2016年度の製品化を目指して、安全性や実用性の実証評価を行っています。



主な用途

- 介護施設における介護ベッドと車椅子間の移乗介助

カイエルダーロボット社への 出資について

当社は、安川電機(中国)有限公司を通じて、中国最大手の溶接機メーカー、凱尔达集团有限公司集团有限公司(カイエルダーグループ)の子会社である、杭州凱尔达机器人科技股份有限公司(カイエルダーロボット社)への出資を決定し、昨年11月に手続きが完了いたしました。

カイエルダーロボット社は、カイエルダーグループの溶接機と当社のロボットを組み合わせたアーク溶接ロボットシステムを、建機・造船・自動車関連企業のお客様に提供します。

カイエルダーロボット社が当社のロボットを専用的に使用することで、当社ロボットの販売量は確実に増大しており、今後も大いに期待ができます。

The Switch Engineering Corporation との業務提携について

フィンランドの風力発電用電機品サプライヤである、The Switch Engineering Corporation(スイッチ社)と、発電機及びコンバータの相互供給に関する業務提携契約を締結いたしました。

スイッチ社は、世界で累積6.5 GWの大型風力発電用電機品(発電機・コンバータ)導入実績と経験を持つ企業です。

当社は、スイッチ社を通じて、欧州市場における大型風力発電用電機品の拡販が強化できると同時に、スイッチ社が保有する多彩な大型風力発電用(低圧)電機品を日本市場向けに拡販することが可能になります。

カイエルダーロボット社の概要

会社名: 杭州凱尔达机器人科技股份有限公司
(Hangzhou Kaierda Robot Technology Company Limited)

所在地: 浙江省杭州市萧山区经济技术開發区
墾輝五路6号

設立: 2009年3月

董事長: 王仕凱

總經理: 侯潤石(法定代表人)

大型風力発電用(高圧)電機品



3 kV級 発電機



3 kV級 コンバータ

大型風力発電用(低圧)電機品



690 V級 発電機



690 V級 コンバータ

Argo Medical Technologies社との 戦略的提携について

イスラエルの歩行アシスト装置メーカー、Argo Medical Technologies, Ltd.社（アルゴ社）と、資本提携及び戦略的協業に関する契約を締結いたしました。アルゴ社の主力製品は、脊髄損傷などによって下半身が麻痺していても、装着することで歩行が可能となる外骨格型のロボット「ReWalk」です。当社は、本提携により、「ReWalk」の日本・アジア（中国、台湾、韓国、シンガポール、タイ）における独占販売権を取得いたしました。

同時に、同社のノウハウを活用することで、医療・福祉機器の販売網を構築・強化するとともに、技術協力による製品改良や新製品の共同開発、アルゴ社が持つ欧米の販売網を活用した当社開発製品の拡販も推進してまいります。

（注）日本・アジアでの「ReWalk」の販売は、2014年より病院・リハビリ施設への販売と試験運用を実施した後、2015年から本格的な個人向け販売を計画しています。



FSDrive-MV1000が 優秀省エネルギー機器表彰 日本機械工業連合会 会長賞を受賞

スーパー省エネ高圧インバータFSDrive-MV1000が、第34回優秀省エネルギー機器表彰の日本機械工業連合会 会長賞を受賞しました。本賞は、優秀な省エネルギー機器を開発・実用化させることにより、エネルギーの効率的利用の推進に貢献した企業や団体を表彰するものです。

業界最高水準の省エネ効果を実現した当製品は、出力サージ電圧や入力高調波の抑制、フィルタレス機能などにより、更にロスが少ないシステムを構築することができます。また、幅広い電源電圧範囲（3kV～11kV）と国際規格に対応していることから、ファン・ポンプ・試験機などの多様な用途において、世界各国に採用されています。今後も省エネへの貢献が期待される点を高く評価いただき、今回の受賞となりました。



優秀省エネルギー機器

■ 連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表 (2014年3月20日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	237,068	流動負債	134,474
現金及び預金	23,104	支払手形及び買掛金	67,999
受取手形及び売掛金	108,706	短期借入金	24,395
たな卸資産	78,364	未払費用	23,223
繰延税金資産	8,671	未払法人税等	2,535
その他流動資産	19,848	役員賞与引当金	39
貸倒引当金	△1,626	その他流動負債	16,280
固定資産	103,437	固定負債	66,160
有形固定資産	50,586	新株予約権付社債	15,000
建物及び構築物	22,467	長期借入金	15,357
機械装置及び運搬具	10,891	退職給付引当金	26,234
土地	7,848	役員退職慰労引当金	232
その他有形固定資産	9,378	その他固定負債	9,335
無形固定資産	15,043	負債合計	200,635
ソフトウェア	6,218	純資産の部	
その他無形固定資産	8,824	株主資本	122,706
投資その他の資産	37,807	資本金	23,062
投資有価証券	24,259	資本剰余金	18,689
長期貸付金	178	利益剰余金	81,431
繰延税金資産	8,104	自己株式	△476
その他投資	5,578	その他の包括利益累計額	11,370
貸倒引当金	△313	その他有価証券評価差額金	5,286
		為替換算調整勘定	6,083
		少数株主持分	5,794
		純資産合計	139,870
資産合計	340,506	負債・純資産合計	340,506

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

自2013年3月21日 至2014年3月20日	
売上高	363,570
売上原価	255,431
売上総利益	108,139
販売費及び一般管理費	82,436
営業利益	25,702
営業外収益	2,586
受取利息及び配当金	556
持分法による投資利益	855
為替差益	329
補助金収入	611
雑収入	233
営業外費用	1,204
支払利息	789
雑支出	414
経常利益	27,084
特別利益	296
固定資産売却益	266
関係会社出資金売却益	30
特別損失	1,663
固定資産除売却損	332
投資有価証券評価損	1
減損損失	374
事業構造再編費用	840
その他特別損失	113
税金等調整前当期純利益	25,717
法人税、住民税及び事業税	7,206
法人税等調整額	894
少数株主損益調整前当期純利益	17,617
少数株主利益	652
当期純利益	16,964

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自2013年3月21日 至2014年3月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,315
現金及び現金同等物の増減額	2,361
現金及び現金同等物の期首残高	19,389
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,183
現金及び現金同等物の期末残高	22,992

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

当期末の資産、負債及び純資産の状況

当期末における資産合計は、3,405億6百万円(前期末比379億87百万円増)となりました。これは、受取手形及び売掛金等の増加等により、流動資産が前期末比285億63百万円増加したこと及び固定資産が前期末比94億23百万円増加したことによるものです。

負債合計は、2,006億35百万円(同155億82百万円増)となりました。これは、支払手形及び買掛金等の増加等により、流動負債が前期末比140億9百万円増加したこと

及び固定負債が前期末比15億72百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、1,398億70百万円(同224億5百万円増)となりました。これは、主に利益剰余金の増加により、株主資本が前期末比138億10百万円増加したことによるものです。

当期のキャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物の残高は、229億92百万円(前期末比36億3百万円増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、239億72百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益257億17百万円、減価償却費92億14百万円、売上債権の増加額19億45百万円、たな卸資産の増加額83億75百万円及び仕入債務の増加額34億30百万円等です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、169億42百万円の支出となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出158億98百万円、投資有価証券等の取得による支出14億32百万円等です。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、70億29百万円の収入となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、59億83百万円の支出となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額39億11百万円、長期借入れによる収入58億86百万円、長期借入金の返済による支出47億94百万円及び配当金の支払額27億71百万円等です。

■ 個別財務諸表 (要約)

貸借対照表 (2014年3月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	116,104	流動負債	70,715
現金及び預金	8,416	支払手形	3,812
受取手形	4,113	買掛金	37,739
売掛金	59,690	短期借入金	7,394
製品	12,104	リース債務	27
半製品	883	未払金	3,395
原材料	6,097	未払費用	11,802
仕掛品	3,349	未払法人税等	15
前渡金	73	前受金	1,044
繰延税金資産	4,230	預り金	5,397
未収金	1,384	その他流動負債	85
短期貸付金	1,804	固定負債	48,158
その他流動資産	14,555	新株予約権付社債	15,000
貸倒引当金	△598	長期借入金	12,504
固定資産	85,204	リース債務	453
有形固定資産	25,426	退職給付引当金	17,723
建物	11,685	資産除去債務	270
構築物	575	その他固定負債	2,205
機械装置	4,077	負債合計	118,874
車輛運搬具	12	純資産の部	
工具	546	株主資本	77,262
器具及び備品	468	資本金	23,062
土地	4,061	資本剰余金	18,493
リース資産	458	資本準備金	18,491
建設仮勘定	3,540	その他資本剰余金	2
無形固定資産	7,005	利益剰余金	36,051
施設利用権	0	その他利益剰余金	36,051
ソフトウェア	5,380	繰越利益剰余金	36,051
その他無形固定資産	1,623	自己株式	△344
投資その他の資産	52,772	評価・換算差額等	5,172
投資有価証券	14,963	その他有価証券評価差額金	5,172
関係会社株式	21,656		
出資金	0		
関係会社出資金	8,855		
長期貸付金	303		
繰延税金資産	5,915		
その他投資	1,421		
貸倒引当金	△343	純資産合計	82,434
資産合計	201,309	負債・純資産合計	201,309

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

自2013年3月21日 至2014年3月20日	
売上高	180,168
売上原価	138,145
売上総利益	42,022
販売費及び一般管理費	31,811
営業利益	10,210
営業外収益	6,814
受取利息及び配当金	6,212
雑収入	601
営業外費用	321
支払利息	160
債権売却損	3
為替差損	131
雑支出	26
経常利益	16,703
特別利益	39
固定資産売却益	8
関係会社出資金売却益	30
特別損失	2,057
固定資産除売却損	231
投資有価証券評価損	1
関係会社株式評価損	596
減損損失	374
事業構造再編費用	840
その他特別損失	11
税引前当期純利益	14,685
法人税、住民税及び事業税	630
法人税等調整額	2,225
当期純利益	11,830

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

第98期(自2013年3月21日 至2014年3月20日) 配当について		
中間配当	1株につき	6円
期末配当	1株につき	6円
年間	1株につき	12円

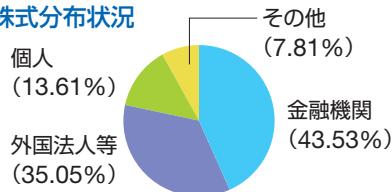
■ 株式の状況 (2014年3月20日現在)

発行可能株式総数	560,000 千株
発行済株式の総数	252,331 千株
資本金	230億62百万円
株主数	16,626 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,401 千株	5.72%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,134 千株	5.61%
株式会社みずほ銀行	8,100 千株	3.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
SAJAP	5,070 千株	2.01%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	4,524 千株	1.80%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY	3,829 千株	1.52%
日本生命保険相互会社	3,631 千株	1.44%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 所有者別株式分布状況



● 株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

当社株式は日経平均株価構成銘柄に採用されています。

■ 役員 (2014年6月18日現在)

取締役

代表取締役会長兼社長	津田 純 嗣
代表取締役副社長	宇佐見 昇
代表取締役 専務執行役員	沢 俊 裕
取締役 常務執行役員	小笠原 浩
取締役 常務執行役員	村上 周二
取締役 執行役員	中山 裕 二
社外取締役	秋田 芳 樹

監査役

監査役(常勤)	下園 直 登
監査役(常勤)	小田 昌 彦
社外監査役	石丸 誠
社外監査役	辰巳 和 正

執行役員

常務執行役員	扇 博 幸
執行役員	南 善 勝
執行役員	高宮 浩 一
執行役員	野田 幸之輔
執行役員	善 家 充 彦
執行役員	小川 昌 寛
執行役員	吉田 一 昭
執行役員	生山 武 史
執行役員	今福 正 教
執行役員	熊谷 彰

■ 会社の概要 (2014年3月20日現在)

商 号 株式会社安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

創 立 1915年7月16日

従 業 員 11,463名(連結) 2,721名(個別)

本 社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話 (093) 645-8801
東 京 支 社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話 (03) 5402-4502
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話 (052) 581-2761
大 阪 支 店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話 (06) 6346-4500
九 州 支 店	〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル	電話 (092) 714-5331
工 場 等	八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

主要関連会社

日本

- 株式会社ワイ・イー・データ
情報関連製品・サービス
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 安川情報システム株式会社
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社安川ロジステック
総合物流事業
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備
及び調整
- 株式会社安川メカトロック
電気機械器具、その他各種機械器具の販売

欧州

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム
の製造・販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス

米州

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム
の製造・販売・サービス

アジア

- YASKAWA ELECTRIC (CHINA) CO., LTD. (中国)
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム
の販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム
の販売・サービス



安川電機 本社

■ 株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月
(配当金受領株主確定日)	毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)
公告方法	電子公告により行い、インターネット上の当社のウェブサイト(http://www.yaskawa.co.jp/ir/)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京・福岡
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務に関するご案内

■ 未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店及び全国各支店にてお支払いいたします。
※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■ 配当金支払い明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主様

口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主様

(特別口座に記録されている株主様)

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

※確定申告の際には、株式数比例配分方式以外の配当金受取方式を選択された株主さまについては、同封しております配当金計算書をご利用いただけます。

株式数比例配分方式を選択された株主さまについては、お取引の証券会社にご確認ください。

■ お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(フリーダイヤル) **0120-288-324**



株式会社 安川電機